

# 新型スカイライナー（A E形） 「ブルーリボン賞受賞式」を実施しました

## 新型スカイライナー車両に貼付する、ブルーリボン賞受賞記念エンブレムのデザインも発表

本年5月に、新型スカイライナー（A E形）のブルーリボン賞受賞が決定したことを受け、11月6日（日）午前10時10分から、京成上野駅構内で新型スカイライナー「ブルーリボン賞受賞式」を実施しました。

当日は、鉄道友の会会員や当社関係者など、約30名の方々にご列席いただき、鉄道友の会会長の須田寛氏や、新型スカイライナーのデザインを手掛けた山本寛齋氏からご挨拶をいただいたほか、表彰状、記念盾の授与、新型スカイライナーをバックにしたフォトセッションなどを行いました。

また、山本寛齋氏デザインの「ブルーリボン賞受賞記念エンブレム」のデザインを発表し、受賞式当日の11月6日（日）から順次新型スカイライナーに貼付して運行を開始しました。



新型スカイライナー「ブルーリボン賞受賞式」フォトセッションの様子

左：鉄道友の会会長 須田 寛 氏  
中央：京成電鉄代表取締役社長 三枝 紀生  
右：デザイナー／プロデューサー 山本 寛齋 氏

## 新型スカイライナー「ブルーリボン賞受賞式」実施概要

### 1. 実施日時

平成23年11月6日（日） 午前10時10分～午前11時

### 2. 実施場所

京成上野駅地下1階コンコース  
（住所：東京都台東区上野公園1-60）

### 3. スケジュール

10時10分 ブルーリボン賞受賞式 開式

#### 【内容】

#### ①鉄道友の会会長ご挨拶

登壇者：鉄道友の会 会長 須田 寛 氏

#### ②選考経過報告

登壇者：鉄道友の会 選考委員長 岩沙 克次 氏

#### ③表彰状贈呈・記念盾贈呈

登壇者：（表彰状贈呈）

鉄道友の会 会長 須田 寛 氏

京成電鉄 代表取締役社長 三枝 紀生

（記念盾贈呈）

鉄道友の会 副会長 久保 敏 氏

京成電鉄 専務取締役鉄道本部長 金子 賢太郎

#### ④受賞者挨拶

登壇者：京成電鉄 代表取締役社長 三枝 紀生

#### ⑤記念エンブレム除幕式

#### ⑥デザイナーご挨拶

登壇者：寛齋スーパースタジオ デザイナー/プロデューサー 山本 寛齋 氏

10時50分 フォトセッション

11時00分 ブルーリボン賞受賞式 閉式

### 4. 受賞コメント

京成電鉄代表取締役社長 三枝 紀生

新型スカイライナーは、成田空港輸送の新たな担い手として、成田スカイアクセス線開業以来、一般のお客様からもスピードはもとより、車内外のデザイン等多くの面に対し誠に高い評価を頂戴し、私どもと致しましても、大いに喜ばしく、また誇りにも感じているところでございます。

今回の受賞を励みに、更に1人でも多くのお客様に新型スカイライナーにご乗車頂き、日本が元気を取り戻す一助となりますよう全力で取り組んでまいります所存です。

## 5. ブルーリボン賞受賞記念エンブレム

### (1) デザイン



<車体前面>



<車体側面>

### (2) デザインコンセプト

#### ①車体前面デザイン

スカイライナーのコンセプトである「風」をイメージしたロゴをモチーフに、ブルーリボン賞の青いリボンと組み合わせました。速さを追求した車両に相応しいスピード感を表現しています。

#### ②車体側面デザイン

スカイライナーが、まったく新しい、諸外国に遜色のない空港アクセスを実現していることを受け、「スカイライナーから世界へ」というイメージをデザインしました。スカイライナーを軸として円で地球をイメージし、リボンが、縦横無尽に世界を駆けまわっている様を表現しています。

### (3) 記念エンブレムを貼付した新型スカイライナーの運行について

運行期間：平成23年11月6日（日）から当面の間

運行車両：新型スカイライナー（AE形）全8編成

運行区間：京成本線（上野～成田空港）、成田スカイアクセス（高砂～成田空港）

### 【ご参考】

「ブルーリボン賞」とは、毎年鉄道友の会（会長：須田 寛 会員約3,300人）が、前の年に営業運転を開始した新形式車両の中から、趣味的見地及び利用者側の見地の両面から優秀と認められた鉄道車両を会員の投票により選出されるものです。

今回の新型スカイライナー（AE形）の第54回（2011年）ブルーリボン賞受賞は、高速運転によって、成田国際空港への所要時間を諸外国と遜色のない水準にし、鉄道友の会の多くの会員の支持を集めたことによるもので、当社の車両では第17回（1974年）の初代スカイライナー以来で2度目の受賞となります。

新型スカイライナー（AE形）は、平成22年7月17日の成田スカイアクセス開業と同時にデビューした車両で、在来線では国内最速となる最高時速160kmで走行し、都心（日暮里）と成田空港（空港第2ビル）を最速36分で結びます。

この車両のデザインを、世界的に著名なデザイナー・プロデューサーの山本寛斎氏が手掛け、「風」と「凜」をデザインコンセプトに、スピード感あふれる外観と、快適な室内空間を実現しました。

なお新型スカイライナー（AE形）は、平成22年9月29日に財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「グッドデザイン賞」も受賞しています。

以 上